

# 平成21年度一般会計決算の概要(ポイント)

## 決算の全体像

◇「経済活性化」と「くらしの向上」に向け、国補正予算を活用しつつ、諸施策を積極的に推進したことにより、歳入歳出とも大幅に増加。

〔 歳入は、5,028億円。(対前年度比 +467億円 +10.2%)  
歳出は、4,977億円。(対前年度比 +446億円 +9.8%) 〕

◇地方交付税の振替である臨時財政対策債などの増加により、収支は前年度に比べ増加。

〔 歳入 5,028億円 - 歳出 4,977億円 - 翌年度へ繰り越した事業に必要な財源 29億円 = 22億円 〕

## 歳入の状況

◇県税、地方交付税(その振替である臨時財政対策債を含む)等の主要な一般財源は、  
⑳3,142億円から㉑3,196億円と54億円の増加。

## 歳出の状況

◇人件費は、⑳1,657億円から㉑1,612億円に減少(△45億円)。

◇公共事業などの普通建設事業費は、⑳727億円から㉑785億円に増加(+58億円)。

◇補助費は、社会保障関係経費の増加のほか、病院事業補助、1300年記念事業負担金などの増により⑳884億円から㉑1,021億円に増加(+137億円)。

◇積立金は、国の経済危機対策等による基金創設などにより⑳184億円から、㉑434億円に増加(+250億円)。

## 収支の状況

◇地方交付税の振替である臨時財政対策債などの増加により、収支は前年度に比べ増加。

実質収支 22億50百万円(㉑ 8億70百万円 +13億80百万円)

〈参考〉

県債残高 ㉑年度末 10,134億円(㉒年度末9,860億円 +274億円)  
うち交付税措置がなく県税等で償還する額  
4,580億円 45.2%(△12億円 △1.4%)

財政調整基金及び県債管理基金の残高  
㉑年度末 400億円(㉒年度末 366億円 + 34億円)

## 財政状況の指標

◇一般会計のほか特別会計等の決算額を含め、財政状況の指標を算定。

◇本県の指標はいずれも基準をクリア。

〈資金繰りの状況を表す指標〉

指標の種類	H21本県数値	H20本県数値	備考
公営企業等を除く会計の赤字の比率(実質赤字比率)	「－」 (△0.82%)	「－」 (△0.35%)	<3.75%>
全ての会計の赤字の比率(連結実質赤字比率)	「－」 (△7.02%)	「－」 (△6.61%)	<8.75%>
公債費の比重を示す比率(実質公債費比率)	11.7%	11.8%	<25%>

〈負債の状況を表す指標〉

指標の種類	H21本県数値	H20本県数値	備考
県債残高だけでなく公営企業会計や公社・3セクの負担も含めた、一般会計が将来負担すべき負債の比率(将来負担比率)	237.1%	252.2%	<400%>

※表中、備考欄の数値は、法律により財政健全化計画等の策定が義務付けられる基準